

橋 梁 個 別 施 設 計 画 【和泉市】

令和 7 年 8 月改訂

和泉市 都市デザイン部 土木維持管理室

目 次

1. 個別施設計画策定の目的
2. 対象橋梁
3. 計画期間
4. 対策の優先順位の考え方
5. 施設の状態と優先順位の決定
6. 対策内容と実施時期
7. 対策費用

1. 目的

全国の道路橋の数は高速自動車国道、国都道府県道および市町村道を合わせ約 67 万橋、橋長 15m 以上の橋梁は 171,805 橋に上る（「道路統計年報 2019」）。国道および都道府県道にある橋梁約 14 万橋の内、約 4 割は、高度成長期（1960 年代～1970 年代）に集中的に建設されており、老朽化等によるコンクリート部材のひびわれおよび剥離・剥落、鋼部材の腐食・亀裂等の損傷が顕在化している。損傷の発生は、交通事故の起因、補修工事による通行規制および交通止め、車両や人への第三者被害等、道路交通の安全性や経済性に多大な影響を及ぼすものである。

大阪府和泉市が管理する橋梁は、令和 6 年度現在で 171 橋ある。今後、橋梁の老朽化が急速に進行し、更新時期の集中、更新にかかる財政的な負担が飛躍的に増大することが予想される。

このため、従来の事後的な修繕および架替えから、予防的な修繕および計画的な架替えへと転換を図り、橋梁の長寿命化により、修繕や架替えに係る費用の縮減と平準化を図ることに加え、新技術等の活用や集約撤去について検討を行い、更なる費用の縮減や事業の効率化などに努めることを目的に橋梁の個別施設計画を策定するものである。

2. 対象橋梁

和泉市では下記の橋梁全 171 橋を計画対象橋梁として選定した。

○対象施設

橋梁名		橋長 (m)	幅員 (m)	所在地	上部工 構造形式	路線名	架設 年度	点検 年度	判定	備考
1	黒石大橋	356.5	16	黒石町	ボステンT桁	光明池春木線	1999	2022	I	
2	中央1号歩行者専用橋	294.6	4.0～8.0	いぶき野4～ 5丁目	箱桁(非合成) + I桁(非合成) + その他(RC橋) + I桁(鋼床版) + 箱桁(鋼床版) + プレテンT桁	中央1号歩行者専用道	1995	2023	I	
3	和泉府中駅前ペDESTリアンデッキ	250.8	4	府中町1丁目	箱桁(鋼床版) + その他(RC橋)	和泉府中南通り線	—	2021	I	
4	光明池大橋	157.6	6.8	光明台1丁目	その他(PC橋)	光明池1号線	1984	2023	I	
5	ぴらかんざ橋	151.4	4.6	室堂町	RC床版橋 + ボステンT桁	室堂町歩3号線	1979	2022	Ⅲ	
6	惣ヶ池大橋	146	16	小野町	ボステン中空床版	上伯太線	2011	2022	I	
7	中央2号歩行者専用橋	128.5	5	万町～ 唐国町	プレテン床版橋 + プレテン中空床版	中央2号歩行者専用道	—	2020	I	
8	無名橋	124	3	伏屋町5丁目	I桁(鋼床版) + ボステン床版橋 + RC床版橋	伏屋町歩3号線	—	2022	Ⅱ	
9	和気小学校前歩道橋	118	3	和気町4丁目 ～ 今福町2丁目	ボステン桁橋 + ボステン中空床版 + RC桁橋 + I桁(鋼床版)	府中今福歩行者専用道	1983	2022	Ⅱ	
10	無名橋76	94	3.5	室堂町	RC床版橋 + ボステンT桁	室堂町歩5号線	—	2022	I	
11	和泉いぶき野大橋	85.9	25	いぶき野5丁目	ボステン箱桁	和泉中央線	1992	2020	I	
12	いぶき野南大橋	85	22.6	いぶき野4～ 5丁目	ボステン箱桁	和泉中央駅前線	1994	2020	I	

[illegible]

32	尾井跨道橋	39.1	6.9	小野町～ 伏屋町1丁目	ボスデン中空床版	池田下町側道2号線	1991	2020	I	
33	信太山跨道橋	38.2	4.1	尾井町	ボスデン箱桁	認定外	1991	2020	I	
34	八王子橋	37	4.5	平井町～ 黒石町	その他(RC橋)	納花黒石線	1952	2020	I	
35	小野跨道橋	36.8	6.1	小野町～ 伏屋町1丁目	ボスデン中空床版	認定外	1991	2020	I	
36	はしどい橋	36	4	光明台1～ 3丁目	RC床版橋	光明池1号線	—	2021	I	
37	久保惣橋	35.5	16	内田町3～ 4丁目	ボスデンT桁	内田町8号線	1998	2023	—	
38	無名橋73	35	4.6	いぶき野3丁 目	ボスデン箱桁	中央1号歩行者専用道	1997	2022	I	
39	桑原橋	33.4	3.5	桑原町～ 観音寺町	RCT桁	府中町32号線	1972	2022	I	
40	無名橋77	35	6.3	いぶき野5丁 目	RC中実床版	認定外	—	2023	I	
41	箕形橋	33.3	8.5	箕形町3丁目	ボスデン箱桁	箕形町3号線	1996	2022	I	
42	乳滝栈道橋	33	7.3	父鬼町	RC中実床版 + その他(RC橋)	大野父鬼線	1964	2023	I	
43	池田下跨道橋	32.8	7.1	池田下町	ボスデンT桁	池田下町18号線	1991	2020	I	
44	しいのき橋	32	4	光明台2～ 3丁目	RC床版橋	光明池1号線	1979	2022	I	
45	豊橋	31.6	4.6	平井町	RCT桁	和田国分線	1935	2022	Ⅲ	
46	小川大橋	29	4.4	仏並町	I桁(合成)	坪井父鬼線	2003	2023	I	
47	内田リバーブリッジ	29	4.4	内田町4丁目	その他(PC橋)	認定外	2003	2019	I	
48	内田第二跨道橋	28.2	6.1	内田町～ あゆみ野2丁 目	ボスデン中空床版	あゆみ野8号線	1990	2020	I	
49	新展橋	27.6	5.7	父鬼町	その他(RC橋)	父鬼町5号線	1956	2022	Ⅲ	
50	小栗橋	27.4	4.2	小田町1丁目	箱桁(非合成)	認定外	1997	2019	I	

51	宮之前橋	26.5	4.2	仏並町～ 小野田町	RCT桁	仏並町1号線	1941	2020	Ⅲ	工事施工中
52	前川橋	26	8.5	小田町2～3丁目	I桁(非合成)	国府山直線	1989	2022	I	
53	喜田橋	26	5.6	小野田町2丁目	I桁(非合成)	小田町2号線	1990	2022	Ⅱ	
54	新定之橋	26	10.2	父鬼町	その他(RC橋)	坪井父鬼線	—	2023	I	
55	新出橋	25.8	5.2	小田町	I桁(非合成)	認定外	1990	2019	I	
56	側川橋	25	4.5	大野町	I桁(非合成)	側川線	1977	2022	I	
57	儀与門橋	24.3	5.2	箕形町3～ 4丁目	ボスデンT桁	認定外	1994	2023	I	
58	高橋	23.2	5.2	箕形町2丁目	I桁(非合成)	箕形町2号線	—	2019	I	
59	蒔の谷橋	23	2.5	父鬼町	I桁(合成)	父鬼町9号線	1959	2023	I	
60	阿弥陀橋	22.5	6.2	大野町	その他(RC橋)	大野町3号線	1991	2023	Ⅱ	
61	孝女橋	22	10.1	仏並町	ボスデン中空床版	坪井父鬼線	2007	2022	I	
62	真田橋	21.8	9.6	父鬼町	RCT桁 + その他(RC橋)	大野父鬼線	1926	2020	I	
63	無名橋 75	21.2	6	いぶき野4丁目	その他(PC橋)	いぶき野歩21号線	1999	2023	Ⅱ	
64	無常橋	21.1	6.7	内田町3丁目	プレテン中空床版	内田町6号線	2000	2023	I	
65	西川橋	21	4.9	和気町2丁目	その他(RC橋)	和気町2号線	—	2020	I	
66	大門橋	20.8	4.6	国分町	その他(RC橋)	国分町1号線	1954	2022	I	
67	唐国橋	20.3	8.5	唐国町1丁目	ボスデンT桁	伏屋唐国線	1995	2022	I	
68	町田橋	20.3	5.2	唐国町1丁目	ボスデンT桁	唐国町1号線	—	2019	I	
69	倉の坂橋	20.3	5.2	唐国町1～ 3丁目	プレテンT桁	認定外	1991	2019	I	
70	新通橋	20.3	5.2	唐国町1～ 3丁目	ボスデンT桁	認定外	1994	2019	I	
71	東條橋	20	6.2	北田中町	プレテン床版橋	北田中町1号線	1997	2018	I	
72	無名橋 74	19.7	4.8	いぶき野2～ 4丁目	プレテン中空床版	いぶき野歩21号線	—	2022	Ⅱ	

73	くよぼ橋	19.2	16	春木町～ 松尾寺町	プレテンT桁	光明池春木線	2003	2022	I	
74	四十分橋	18.6	4.7	内田町2丁目	I桁(合成)	内田町2号線	1975	2023	II	
75	上出橋	18.5	1.6	父鬼町	その他(RC橋)	父鬼町10号線	—	2023	I	
76	さかえ橋	18.2	4.5	大野町	その他(RC橋)	大野町1号線	1954	2022	I	
77	せせらぎ橋	18.1	4.2	内田町4丁目	プレテン床版橋	認定外	2003	2019	I	
78	さすけ橋	18	5.7	内田町3丁目	その他(PC橋)	内田中村線	2009	2023	I	
79	光明台橋	17.7	12.1	光明台2～ 3丁目	ボステンT桁	光明池1号線	1975	2022	I	
80	樋之口橋	16.5	4.2	唐国町2丁目	プレテン床版橋	唐国町3号線	1995	2023	I	
81	奥の谷橋	16.3	5.2	久井町～ テクノステージ [®] 1丁目	プレテン床版橋	認定外	1998	2019	I	
82	追込橋	16.3	5.2	テクノステージ [®] 3丁目～ 久井町	プレテン床版橋	認定外	1998	2019	I	
83	大畑橋	15	4.5	仏並町	プレテン中空床版	仏並町2号線	—	2022	I	
84	上徳谷橋	15	5.2	テクノステージ [®] 3丁目	プレテン床版橋	認定外	1998	2019	I	
85	源田谷橋	14.9	5.2	久井町～ テクノステージ [®]	プレテン床版橋	認定外	1998	2019	I	
86	長谷橋	14.7	5.2	テクノステージ [®] 3丁目～ 久井町	プレテン床版橋	認定外	1998	2019	I	
87	西の谷橋	14.6	3.2	テクノステージ [®] 3丁目	プレテンT桁	認定外	1998	2019	I	
88	上川橋	14.4	5	内田町3丁目	その他(RC橋)	内田中村線	1952	2022	I	
89	高橋	14.4	2.4	大野町	H形鋼(非合成)	大野町4号線	—	2023	I	
90	蛭橋	14.1	4.2	内田町4丁目	プレテン床版橋	認定外	2003	2019	I	
91	鍋谷橋	13.1	5.5	父鬼町	RCT桁	大野父鬼線	1931	2020	I	
92	地藏橋	12.4	4	坪井町	H形鋼(非合成)	北田中仏並線	1946	2022	I	2020 補修済

[illegible]

118	無名橋 10	3.8	3.8	芦部町～ 一条院町	RC床版橋	府中阪本線	—	2023	I	
119	西浦橋	3.6	5.8	浦田町	RC桁橋	浦田町 1 号線	1925	2023	I	
120	川中谷橋	3.5	5.1	仏並町	RC桁橋	仏並槇尾山線	1953	2023	I	
121	大谷口橋	3.5	5	槇尾山町	RC桁橋	仏並槇尾山線	1953	2023	I	
122	無名橋 1	3.5	4.5	上町	RC桁橋	信太 2 号線	—	2023	I	
123	落合橋	3.4	6.6	父鬼町	RC床版橋	大野父鬼線	—	2020	I	
124	無名橋 9	3.3	7.1	黒鳥町	その他(RC橋)	府中阪本線	—	2023	I	
125	無名橋 59	3.2	6.9	小田町	その他(RC橋)	小田町 16 号線	—	2020	I	
126	無名橋 26	3.2	4	太町	RC床版橋	太町 22 号線	—	2023	I	
127	無名橋 36	3.1	4.5	池上町 3 丁目	RC床版橋	池上町 4 号線	—	2023	I	
128	無名橋 24	3	2.8	太町	その他(石橋)	太町 20 号線	—	2023	I	
129	無名橋 30	3	2.9	尾井町 2 丁目	RC床版橋	尾井町 8 号線	—	2023	I	
130	無名橋 49	3	9	井ノ口町	RC床版橋	府中町 22 号線	—	2023	II	
131	無名橋 63	3	4.2	池田下町	RC床版橋	池田下町 22 号線	—	2023	I	
132	無名橋 15	2.9	8.8	黒鳥町～ 一条院町	RC床版橋	黒鳥観音寺線	—	2020	I	
133	無名橋 8	2.8	8.2	桑原町	その他(RC橋)	府中阪本線	—	2020	I	
134	無名橋 39	2.8	2.7	池上町 3 丁目	RC床版橋	池上町 9 号線	—	2020	II	
135	無名橋 64	2.8	2.7	室堂町	その他(RC橋)	室堂町 3 号線	—	2023	II	
136	槇尾山 1 号橋	2.7	4.5	槇尾山町	その他(RC橋)	仏並槇尾山線	1953	2023	I	
137	無名橋 44	2.7	4.4	黒鳥町 2 丁目	RC床版橋	黒鳥町 2 号線	—	2020	I	
138	無名橋 25	2.7	2.8	太町	RC床版橋	太町 21 号線	—	2023	I	
139	無名橋 41	2.7	2.8	伯太町 2 丁目	RC床版橋	伯太町 1 号線	—	2023	II	
140	無名橋 4	2.7	4.4	上町	RC床版橋	舞伯太府中線	—	2023	I	
141	白谷橋	2.6	8	父鬼町	RC床版橋	大野父鬼線	—	2020	I	
142	無名橋 46	2.5	8.6	黒鳥町 2 丁目	RC床版橋	黒鳥町 4 号線	—	2020	I	
143	無名橋 13	2.5	3.5	桑原町	RC床版橋	伯太桑原線	—	2023	I	
144	無名橋 11	2.5	5.9	黒鳥町 2 丁目	RC床版橋	伯太桑原線	—	2023	I	

145	無名橋 12	2. 5	5. 8	黒鳥町 2 丁目	その他 (RC橋)	伯太桑原線	—	2023	I	
146	大橋	2. 4	3. 1	王子町 2 丁目	その他 (RC橋)	舞伯太府中線	1970	2020	I	
147	無名橋 22	2. 4	3. 6	九鬼町	その他 (RC橋)	岡坪井線	—	2020	I	
148	無名橋 38	2. 4	4	伯太町 2 丁目	その他 (石橋)	伯太町 8 号線	—	2020	I	
149	無名橋 60	2. 4	2. 9	池田下町	RC床版橋	池田下町 1 号線	—	2020	I	
150	無名橋 19	2. 4	5. 2	観音寺町	RC床版橋	観音寺寺田摩湯線	—	2023	II	
151	無名橋 54	2. 4	3. 4	阪本町	RC床版橋	阪本町 3 号線	—	2023	II	
152	無名橋 56	2. 4	6. 8	井ノ口町	その他 (RC橋)	肥子町 2 号線	—	2023	I	
153	無名橋 47	2. 3	6. 7	黒鳥町	その他 (RC橋)	黒鳥町 4 号線	—	2020	I	
154	無名橋 53	2. 3	7	一条院町～ 芦部町	その他 (RC橋)	芦部町 1 号線	—	2020	I	
155	無名橋 5	2. 3	4. 5	府中町 5 丁目	RC床版橋	舞伯太府中線	—	2023	I	
156	無名橋 6	2. 3	3. 8	府中町 2～ 4 丁目	RC床版橋	舞伯太府中線	—	2023	I	
157	無名橋 7	2. 3	11. 8	府中町 7 丁目	RC床版橋	舞伯太府中線	—	2023	I	
158	無名橋 18	2. 3	5	池田下町	RC床版橋	北池田 1 号線	—	2023	I	
159	無名橋 27	2. 3	3. 6	太町	その他 (石橋)	太町 23 号線	—	2023	I	
160	無名橋 58	2. 3	4	和気町 2 丁目	RC床版橋	和気町 2 号線	—	2023	I	
161	無名橋 61	2. 3	2. 2	阪本町～ 池田下町	RC床版橋	池田下町 6 号線	—	2023	I	
162	無名橋 2	2. 2	10. 7	王子町 2 丁目	RC床版橋	信太 2 号線	—	2023	I	
163	無名橋 52	2. 2	5. 5	観音寺町～ 寺門町	RC床版橋	府中町 32 号線	—	2023	II	
164	無名橋 48	2. 1	5. 7	府中町 6 丁目	RC中実床版	府中町 2 号線	—	2023	I	
165	坪井 2 号橋	2	8. 1	仏並町～ 坪井町	その他 (RC橋)	仏並槇尾山線	—	2023	I	
166	無名橋 14	2	8. 48	黒鳥町 3～ 4 丁目	その他 (RC橋)	黒鳥観音寺線	—	2020	I	
167	無名橋 51	2	2	桑原町	RC床版橋	府中町 32 号線	—	2020	I	

168	無名橋 57	2	3.4	和気町 2 丁目	RC床版橋	和気町 2 号線	—	2020	I	
169	無名橋 40	2	4.8	池上町 3 丁目	H形鋼(非合成)	池上町 12 号線	—	2023	I	
170	無名橋 42	2	3.9	伯太町 2 丁目	その他(RC橋)	伯太町 1 号線	—	2023	I	
171	島の岸橋	18.4	2.7	内田町 3 丁目	RC床版橋	認定外	1979	2021	I	2023 新規

3. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、2021年から2030年の10年間とした。

4. 対策の優先順位の考え方

橋梁の措置優先順位は、最新の点検結果からの健全性、社会的影響度を考慮して設定した。

【健全性の評価】

○橋の健全性は、5年毎に定期点検を実施して、部材の損傷種類や損傷程度から、Ⅰ（健全）～Ⅳ（緊急措置段階）の4段階で評価した。

(1) 健全性の評価

道路橋の健全性の診断は、部材単位毎の健全性の診断結果を踏まえて主要部材に着目して最も著しい健全性の診断結果で、代表させる。

健全性の診断において、構造物の性能に影響を及ぼす主要な部材は、桁、床版、橋台、橋脚、支承を示す。

表 橋の健全性の区分

健全性		状態	点数
健全	Ⅰ 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	0
	Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態	15
劣化	Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	35
	Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	100

【社会的影響度】

橋梁の社会的影響度は利用者・代替性・防災の観点から下表により評価を行った。

表 社会的影響度に着目した分類

項目	要素	点数	適用
①架橋位置	広域緊急交通路にある	40	
	地域緊急交通路にある	30	
	緊急時拠点と広域緊急交通路を結ぶ道路にある	30	
	緊急時拠点と地域緊急交通路を結ぶ道路にある	15	
	上記以外	0	
②迂回路の有無	無し	15	
	有り	0	
③人口集中地域	人口集中地域内	10	
	人口集中地域外	0	
④橋長	100m以上	10	
	50m以上 100m未満	5	
	15m以上 50m未満	1	
	15m未満	0	
⑤幅員	16m以上：2車線以上、歩道付き	10	
	8m以上 16m未満：2車線以上	5	
	5m以上 8m未満：1車線	1	
	5m未満：緊急車両通行不可	0	
⑥交差位置	道路（緊急交通路）	15	
	道路（上記以外）	10	
	鉄道	15	
	公園、遊歩道（河川内含む）	7	
	河川、水路、湖沼	5	
	上記以外	0	

【管理者が設定する加算点】

事業中である橋梁や地元要望がある橋梁等については優先して補修等の工事を行う必要があることから、管理者による加算点を設定した。

表 管理者が設定する加算点

条件	点数
工事着手済（架替）	60
工事着手済（補修）	30
詳細設計済（工事未着手）	15
地元要望あり	30
通学路	5
供用年数（供用 75 年）	15

【優先順位の設定】

・今回の計画では計画期間内に対策が必要と判断された 5 橋の橋梁について、健全性ランクと社会的影響度及び管理者が設定する加算点に応じた措置優先順位の設定を行った。

措置優先順位を設定することで、単年度の修繕費が予算を超過しないよう、修繕時期の調整による予算の平準化を図る。



5. 施設の状態と優先順位の決定

○対象橋梁の対策優先順位の決定（2022 年度更新）

橋梁名	路線名	法令点検		点数	優先順位	備 考
		年度	評価			
宮之前橋	仏並町 1 号線	2020 年	Ⅲ	106	1	工種として、新設架替を実施予定 (期間は 2024 年～2027 年を予定)
桑原大橋	和泉中央線	2020 年	Ⅱ	101	2	工種として、橋面防水・舗装・伸縮装置取替・高欄改修を実施予定 (期間は 2021 年～2023 年を予定)
びらかんざ橋	室堂町歩 3 号線	2022 年	Ⅲ	95	3	工種として橋面防水、断面補修を実施予定 (期間は 2024 年～2025 年を予定)
豊橋	和田国分線	2022 年	Ⅲ	36	4	工種として橋面防水、断面補修を実施予定 (期間は 2025 年～2026 年を予定)
新展橋	父鬼町 5 号線	2022 年	Ⅲ	22	5	工種として橋面防水、断面補修を実施予定 (期間は 2025 年～2026 年を予定)

判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分Ⅳ	計
0 橋	1 橋	4 橋	0 橋	5 橋

6. 対策内容と実施時期

凡例：対策実施時期 
点検 

優先順位	橋梁名	路線名	最新法令点検		対策の内容・時期									
			年度	評価	対策の費用（単位：百万円）									
					2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
1	宮之前橋	仏並町1号線	2020年	Ⅲ	 25			※ 35	 180	100	230			
2	桑原大橋	和泉中央線	2020年	Ⅱ	 55	50								
3	ぴらかんざ橋	室堂町歩3号線	2022年	Ⅲ				 5	30					
4	豊橋	和田国分線	2022年	Ⅲ				 5		 30				
5	新展橋	父鬼町5号線	2022年	Ⅲ				 5		 30				
	勝橋	鍛冶屋町1号線	2022年	I				 10						
	無名橋34	富秋幸線	2023年	I					 12					
	いぶき野南大橋	和泉中央駅前線	2021年	I		 130								

※宮之前橋は2024年度に法定点検予定ではあるが、更新事業に伴い撤去予定なので点検はせず

健全性	I：健全	Ⅱ：予防保全段階	Ⅲ：早期措置段階	Ⅳ：緊急措置段階
-----	------	----------	----------	----------

7. 対策費用

単位：百万円

計画期間	2021年 (R03)	2022年 (R04)	2023年 (R05)	2024年 (R06)	2025年 (R07)	2026年 (R08)	2027年 (R09)	2028年 (R10)	2029年 (R11)	2030年 (R12)
概算費用	80	50	130	40	220	160	230			
対策橋梁 事業内容	工事 (点検)	工事 (点検)	工事 (点検)	工事 (-)	工事 (点検)	工事 (点検)	工事 (点検)	(点検)	(点検)	(点検)

8. 新技術の活用

令和 6 年度から令和 9 年度までの 4 年間に実施する宮之前橋の架替工事では新技術を活用することで、従来工法と比較し、当該工種におけるコストを約 40 万円削減し、工程を約 1 日短縮することを目標とする。

令和 7 年度から令和 8 年度までの 2 年間に実施する橋梁の修繕工事において新技術・新工法の活用を重点的に検討し、修繕工事に係る費用を 1 割程度、縮減することを目標とする。

9. 集約化・撤去について

迂回路が存在し、利用者が限定的な橋梁については、令和 10 年度までに 1 橋程度の集約化・撤去等を検討し、令和 15 年度までに維持管理費用約 1 百万円程度コストを削減することを目指します。